

学科名	学年	授業のタイトル (科目名)	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	2	アニメ作画技法Ⅱ	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
実習	水谷 剛徳	あり	
[実務経歴]			
「人間不信の冒険者たちが世界を救うようです」原画、「ノブナガ先生の幼な妻」原画、「トライナイツ」原画			
単位数 (授業の回数)	時間数☒	配当時期	必修・選択
4 単位 ( 60 回 )	120 時間	通年	選択
[授業の目的・ねらい]			
アニメの基本となる人物の3大運動と物体の動きの基礎概念を習得する。 作画技法Ⅰでは主に座学と実践と人物の作画授業を行い、最終制作はアニメーション制作Ⅰで行☒うことで実践力を身につける。☒ 業界用語や基礎知識の理解。			
[授業全体の内容の概要]			
人間の基本3大動作と人体の描写のスキルアップ 歩き、走り、振り向きの動きの基本動作および台詞(口パク)およびマバタキ(目パチ) 物体の動きの概念である速度差、軌道、変型 アニメ制作における基礎知識と基本的な手法			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業で実践しながら現場同様にリテイクを繰り返し、定期試験ごとに制作物提出。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト なし 参考文献 プリントか画像データ		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点(出席、講義の参加度)20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	業界用語や基礎知識		
2回	動きの概念1		
3回	動きの概念2		
4回	顔の描き方1		
5回	顔の描き方2		

6回	顔の描き方3
7回	上半身の描き方1
8回	上半身の描き方2
9回	下半身の描き方1
10回	下半身の描き方2
11回	全身の描き方と動き1
12回	全身の描き方と動き2
13回	服の描き方
14回	キャラクター制作 いろんな角度や動きも描く
15回	まとめと振り返り
16回	1回目の授業を元にアニメーション技術の基礎（割りやフレームについてなど）
17回	歩き、歩きの足の運びについて
18回	歩き、技術技法
19回	歩き 課題制作→ リテイク → 制作
20回	歩き 課題制作→ リテイク → 制作
21回	歩き 課題制作→ リテイク → 制作
22回	歩き 課題制作
23回	歩き 課題制作
24回	走り 走りの足の運びについて
25回	走り 課題制作→ リテイク → 制作
26回	走り 課題制作→ リテイク → 制作
27回	走り 課題制作→ リテイク → 制作
28回	走り 課題制作
29回	走り 課題制作
30回	まとめと振り返り（歩きと走りのまとめ提出）（これらはアニメーション制作と並行）
31回	振り向き 視線送りと回転軸について
32回	振り向き 課題制作→ リテイク→ 制作
33回	振り向き 課題制作→ リテイク→ 制作
34回	振り向き 髪の切り替えしについて
35回	振り向き 課題制作
36回	振り向き 課題制作
37回	口パク（セリフ）の基本、リップシンクの基本
38回	口パク 課題制作→ リテイク→ 制作
39回	口パク 課題制作
40回	まばたきの基本、目のつくりの基本
41回	まばたき 課題制作→ リテイク→ 制作
42回	まばたき 課題制作
43回	全体的な体の動きの復習1（31～42回の授業の総復讐）
44回	全体的な体の動きの復習2
45回	まとめと振り返り（全体的な体の動きの復習提出）（これらはアニメーション制作と並行）

46回	背景のアニメーションの基礎、視点を動かして背景を動かす。
47回	背景のアニメーション実践1
48回	背景のアニメーション実践2
49回	背景のアニメーション実践3
50回	卒業制作アニメの制作
51回	卒業制作アニメの制作
52回	卒業制作アニメの制作
53回	卒業制作アニメの制作
54回	卒業制作アニメの制作
55回	卒業制作アニメの制作
56回	卒業制作アニメの制作
57回	卒業制作アニメの制作
58回	卒業制作アニメの制作
59回	卒業制作アニメの制作
60回	まとめと振り返り